

大阪経済を支える経営者のための応援マガジン

Root for

[ルート・フォー]

冬号

アイデアを形に ゆるまなない挑戦



Root for Next Osaka

東大阪から「ネジ」で世界へ
ハードロック工業株式会社
若林 克彦氏

ウラマヨ! タイアップ企画

町の畳屋から業界トップ企業へ
株式会社TTNコーポレーション
四代目
辻野 福三郎氏

大阪府施策情報

あなたの起業を応援します!大阪起業家スタートアップ事業
大阪府のベンチャー起業家“急成長”プログラム「Booming!」
支援施策を活用して大阪経済を元気にする経営者たち
人材支援のイベント・サービスのご案内
専門家のサポートを受けながら省エネを進める
「大阪府健康づくり推進条例」を制定!

編集・発行:株式会社関西ばど

関西ばどは、大阪府と包括連携協定を締結しています。



ルート・フォー Web
<https://root-for.net>



大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号、災害の多い今だからこそ考える

「想定外でした」では済まされない。 非常事態に備えられる企業への転身



株式会社ジャパンクリエイティブグループ
代表取締役会長 五十嵐庸公氏

関係者
ミネルヴァペリタス株式会社
代表取締役 松井裕一朗氏

災害大国と呼ばれる日本、災害時の死者数の少なさや復旧の早さは大変優れているが、後の追跡調査では被災地域における失業率が他の先進国と比べると非常に高い。つまり、企業が事業継続できているという点をあらわしている。

災害対応で企業に求められるのは、レジリエンス即ち復旧力や対応力であり、そのためにもBCP (Business continuity planning: 事業継続計画) や B C M (Business Continuity Management: 事業継続マネジメント) といった事業継続についての取り組みが必要だ。

国では、平成28年度から事業継続の取り組みを広めることによって、すそ野の広い、社会全体の強靱化を進めることを目的とした「国土強靱化貢献団体認証」、通称「レジリエンス認証」を実施している。今回は事業継続の取り組みを先んじて実施し、レジリエンス認証を7月に取得された株式会社ジャパンクリエイティブグループの五十嵐会長に、事業継続のスペシャリストであるミネルヴァペリタス株式会社の松井社長が、その先進的取組み・考え方について伺う。

災害のようにいつ起こるか分からないものに人はなかなか動かない。だからこそ、トップダウンでの取組みが必要。

松井 まず、(株) ジャパンクリエイティブグループの事業継続についての考え方を聞かせてください。

五十嵐 事業継続についての重要性を認識したのは平成23年の東日本大震災がきっかけです。有事の対策はその場その場ではなく、マニュアル化する方がよいと考えました。非常事態時にトップがないという話がよくある話で、不在時にどう対応すればいいのか。私は、BCPという「機能」が対応すればいいと思います。その「機能」があるかどうか重要です。ただ、いつ起こるか分からないものには、なかなか人は動かない。そこでBCPを策定しようということをトップダウンで

発信しました。経営層にはある程度の「臆病さ」が必要です。南海トラフも明日起こるかもしれない。がむしやらに突っ走るだけではなく、あそこが水没したら、ここが被害にあつたらどうなるのだろうという「臆病さ」も必要だと思います。

松井 BCP作成にあたって注意したことや苦労したことはありませんか。

五十嵐 当グループは、創業18年目の若い会社ですが、ホールディングスとしてグループに14社、主力のアウトソーシング事業では全国に拠点・テナントがあり、従業員は約850名、派遣請負スタッフを合わせると8500名程度おります。このため、どこから手をつけていいのかわかりませんでした。色んな支援制度を調べ、最終的に大阪府のBCP策定支援制度(左記ページ参照)を活用させていただいたところ、時間も短縮でき良いものができたと思います。指導を頂いた大阪府商工会連合会・ミネルヴァペリタス様には大変感謝しております。

作成の際は、社員に中身をじっくり考えて作り上げてもらうためにポトムアップで行いました。最初は取組みに対して懐疑的な雰囲気がありましたが、トップダウンで演習を繰り返すうちに意識もガラッと変化しました。今は、社員への意識啓発だけにとどまらず、その家族への意識も高めてもらうよう取り組んでいます。

松井 レジリエンス認証を取得して良かったことはありませんか。

五十嵐 グループでは、これまでプライバシーマークやOHSASなど色々な認証の取得に取り組んできました。これらは、定期的な更新を求められるので維持することは大変ですが、良い面もあります。それは、認証を継続しようという目標のため、現場の社員にプロ意識が生まれることです。今回取得したレジリエンス認証についても同様の効果があると期待しています。

松井 大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号の際には、どのような対応をされたのでしょうか。
五十嵐 大阪府北部地震では、訓練とおりBCPを発動することができました。事前に構築していた従業員の安否確認システムの不具合や什器の転倒などはありませんが、幸い大きな被害はありませんでした。次の改善につなげるためにも、被害状況については全て写真に記録しました。

真に必要なことは、策定したBCPのブラッシュアップや演習。決して取組みが終わることはない。

通常業務と平行して取組まないといけない項目がたくさんあり大変苦労しましたが、認証を取ることでは社員の付加価値が上がります、社員の自信にも繋がるというプラスの効果もありました。
災害の多い日本では、BCPやレジリエンス認証のような取組みは、これから社会全体から企業に求められる要件になってくると思います。先んじてこのような取組みを行っているということで、お取引いただいているお客様の安心感にも繋がっていると思います。



西日本豪雨では、中国地方の取引先のテナントに土砂が流れ込んだり、従業員が通勤できないなど問題がありました。大きな被害はございませんでした。台風21号は、正直目の当たりにして驚きました。しかし、前日にはBCPの観点から様々な指示をしていたので、人的被害は最小限で済みました。松井 事前にBCPを発動したのが非常に重要なことですね。発動して結局空振りだと恥ずかしいなどの理由から、具体的な被害が出るまで発動しない会社もあります。しかし、たとえ空振りに終わったとしても、計画通り行動できたことを称えるくらいの気持ちで大事です。
五十嵐 私は、発動して空振りでも、恥ずかしいとは一切思いません。最近の鉄道機関の事前告知もそうですよね。賛否両論あると思いますが、私は事前に対策を行って止めるのも良いと思います。松井 その通りだと思います。「電車を止めただけ被害はなかった」との批判もありますが、「止めたから被害がなかった」とも言えます。
松井 実際BCPを発動して感じたことはありませんか。
五十嵐 大阪北部地震でBCPを発動したときに、

改善点が多く見つかりました。例えば、連絡網再構築の必要性、SNSが非常に有効ということ。そこで全従業員に了解を得て、SNSで非常時に連絡が取れるようにしました。これだけ推敲・演習を重ねたものでも、想定外のものがあり、課題は尽きないなあと感じます。今後も、演習・ブラッシュアップを重ねていきます。
マルチハザードに対応できるBCPにしていきたい。
松井 今後の展望について聞かせてください。
五十嵐 自然災害対策も大事ですが、情報セキュリティ対策を行わないと企業の信用失墜につながりますのでしっかりと取り組みたい。企業経営には様々なリスクが存在するので、それらを顕在化させ、幅広く対応できる危機管理を目指したいと考えています。

松井 日本はBCPⅡ自然災害となりがちですが、情報セキュリティなどの人災なども意識されていることは素晴らしい。ぜひマルチハザードに対応できるように取組んでほしいと思います。最後にありますが、会長より感想やこれから取組まれる企業へアドバイスをお願いします。
五十嵐 最近よく思うのは、「どの元過ぎれば熱さ忘れる」ということです。今年是比较的大きな災害が頻発していますが、たとえば阪神淡路大震災の記憶を鮮明に持っている人は意外と少ないのでは。人間は長い歴史の中で、色々な経験をしているはずなのに必ず忘れず。やはり人間は「いつ起きるか分からないものになかなか行動できない動物」。そのような取組みは、トップがしっかり意識を進めなければならぬと思います。マンパワーや予算がなくて取組めないという企業もあるでしょうが、幸いにして大阪府には策定支援制度があります。活用するしないもトップの判断ですが、せっかくそのような制度があるので利用しない手はないと思います。

松井 日本はBCPⅡ自然災害となりがちですが、情報セキュリティなどの人災なども意識されていることは素晴らしい。ぜひマルチハザードに対応できるように取組んでほしいと思います。最後にありますが、会長より感想やこれから取組まれる企業へアドバイスをお願いします。
五十嵐 最近よく思うのは、「どの元過ぎれば熱さ忘れる」ということです。今年是比较的大きな災害が頻発していますが、たとえば阪神淡路大震災の記憶を鮮明に持っている人は意外と少ないのでは。人間は長い歴史の中で、色々な経験をしているはずなのに必ず忘れず。やはり人間は「いつ起きるか分からないものになかなか行動できない動物」。そのような取組みは、トップがしっかり意識を進めなければならぬと思います。マンパワーや予算がなくて取組めないという企業もあるでしょうが、幸いにして大阪府には策定支援制度があります。活用するしないもトップの判断ですが、せっかくそのような制度があるので利用しない手はないと思います。

松井 日本はBCPⅡ自然災害となりがちですが、情報セキュリティなどの人災なども意識されていることは素晴らしい。ぜひマルチハザードに対応できるように取組んでほしいと思います。最後にありますが、会長より感想やこれから取組まれる企業へアドバイスをお願いします。
五十嵐 最近よく思うのは、「どの元過ぎれば熱さ忘れる」ということです。今年是比较的大きな災害が頻発していますが、たとえば阪神淡路大震災の記憶を鮮明に持っている人は意外と少ないのでは。人間は長い歴史の中で、色々な経験をしているはずなのに必ず忘れず。やはり人間は「いつ起きるか分からないものになかなか行動できない動物」。そのような取組みは、トップがしっかり意識を進めなければならぬと思います。マンパワーや予算がなくて取組めないという企業もあるでしょうが、幸いにして大阪府には策定支援制度があります。活用するしないもトップの判断ですが、せっかくそのような制度があるので利用しない手はないと思います。

ミネルヴァベリタス(株)

リスクマネジメントならびにクライシスマネジメントを手掛けるコンサルティング会社。特に事業継続分野 (BCM/BCP) のコンサルティング実績を多数有し、国内外を問わず自治体・大企業から中小零細企業まで幅広く対応している。事業継続マネジメントの普及啓発を推進している英国事業継続協会のコーポレートパートナー。平成 24 年度から、大阪府商工会連合会が実施するBCP策定支援事業の業務を受託。

事業継続計画(BCP) 策定支援制度

A
コース

BCP策定支援【簡易版】
2日訪問 無料

B
コース

BCP策定支援 4日訪問
有料30,000円 (税抜)

C
コース

BCPブラッシュアップ支援
2日訪問 無料

D
コース

レジリエンス認証取得準備支援
3日訪問 無料

詳しくは下記の事業継続計画(BCP)策定支援制度ウェブサイトをご覧ください
<http://www.osaka-sci-bcp.com/>

実施主体 (問い合わせ先) : 大阪府商工会連合会 (06-6947-4340)
府内商工会議所、商工会